

量子論引き寄せ講座 -OPEN-

必死に努力せずとも、在りたい自分でいられ、幸せを感じ続けることができ、
さらに、自分の思い描いた夢を叶えられる・・・
そんな考え方、在り方が身に付けられる秘密を今、この場で解説します。

こんにちは、佐伯です。

今回、約1年振りに
「量子力学」と「引き寄せの法則」についての話をします。

この考え方は非常におもしろい考え方で、
生きていく上での重要な教えも含まれています。

今回は、このレポートでとりわけ重要なことについて
解説してみようと思います。

スマホやPCに保存したり、プリントアウトしたりして、
ぜひ何度も読み返してみてください。

無料だからって手は抜きませんので、
しっかり理解して、使いこなしてみてください。

最後の方に、企画についての案内もあります。

早く申し込みたい方は、一番最後から申し込んでいただけますが、
申し込んだ後でも構わないので、一度、読んでみてください。

そしたら、より幸せな生き方にシフトするためのヒントが得られるはずですよ。

心理学と、物理学が繋がっている

「量子力学と引き寄せの話は1年ぶり」
と書きましたが、僕は 2016 年と 2017 年にかけて、
「量子物理学的引き寄せの法則講座」と題して

全国5都市で、10回、総勢 200 名以上の人に対して、
「量子力学」と「引き寄せの法則」について講座を開きました。

量子力学にこんなにたくさんの人に興味を持ってもらえるなんて
思ってもみませんでした。

驚いたけれど、すごく嬉しかったのを覚えています。
だってね、量子力学自体は、すごくおもしろいんですけど、
数式をバリバリに使うし、考え方も常識を逸脱したものばかりなんです。

僕の中では、「専門家以外にはかなりマニアック」(何の分野でもそうだけど)
だと思っていました。

「こんな難解な学問、誰が好き好んで学ぶんだ」
って思っていました。
いや、自分が好き好んで学んでいることに気付いていなかったんですけどね(笑)

それで、2016 年の夏に Facebook に量子力学の話を投稿してみたら、
すごく反響があって、それで、各地で講座を開くようになったのです。

こんなに興味がある人がいるなら、僕だけで楽しむのはもったいな、と
当時はそう思ったのを覚えています。

そもそも、大学院を卒業してから、それまでは「趣味」だったのです。

僕は、高校生の時から物理学を学んできて、大学4年間と、大学院2年間の計9年間、物理学を学んできました。

高校物理、大学物理、量子物理ですね。
量子物理学は、量子力学や、量子電磁気学、量子光学などの総称です。

最初、量子力学は、難しいし、全然、おもしろくなかったんですよ。
これを学んで何になるんだ、と。

それよりは、僕が大学に入る前に出会った心理学の方が、
何倍もおもしろいじゃないか、って思っていました。

だから、大学での専門は、量子力学なのに、
実際に勉強しているのは、独学で心理学を勉強していたんです。

「心理学科に進んでおけば良かったなあ」
って何度も思いました。

心理学を学んでいると、自然と「**引き寄せの法則**」にもたどり着きます。
その流れで、脳科学も学びました。

転機は、大学4回生の時でした。
その時の担当の先生から教えてもらった量子力学のとある実験の話で、
僕は、量子力学に目覚めました。

詳細は省きますが、とても簡単に言えば、
「**心理学と、物理学が、繋がっていた！！**」
っていう実験でした。

仮説ですけど、当時の僕には、独学で学んでいた心理学と、
専門で学んでいた量子力学が繋がるなんて、本当にテンションが上がりました。

そこから、量子力学と、引き寄せの法則についての共通点を学び、
自分なりにまとめていき、この後に紹介する3つの原則にまとめました。

そして、自分でその3原則に従ってやると、
本当に引き寄せが起こる。

自分がやりたいことをやっているだけなのに、
なぜか人は向こうからやってくるし、収入も増えたり、
時間も増えました。

それなのに、みんなに見つけてもらうまでは趣味でやっていたんです。
今考えると、なんてズルいことをしていたんだ、って思います(笑)

それで今回は、趣味でやるのをやめて、
ちゃんと僕が作り上げた考え方を最初から最後までお伝えしようと決心したわけです。

引き寄せの法則は、何も考えずに実践できる人ならば、
量子力学の知識なんていりません。

しかし、自分なりの理解だと、誤解して「逆引き寄せ状態」になったり、
心の中にある猜疑心を拭えなかつたりするので、僕は量子力学についても
かなり詳しく解説します。

日本人の知的レベルを高める

僕が各地で講座を開いた時に、受けてくれた人が量子力学や、
心理学のこと、引き寄せのことを理解してくれたこと、
そして、実際に引き寄せが起こったのを体感してくれた人がいました。

それ以外に、予想外だったのが、講座の復習会を各自で開いてくれる人が
何人かいたんです。

「難しいから、もういいや」
じゃなくて、
「難しいけれど、これを理解したら、きっとおもしろいはず」
って思ってもらえていたこと。

それが僕はとても嬉しかったんです。

なんで嬉しかったか、っていうと、僕のミッションは、
「日本の知的レベルを上げる」
っていうのがあります。

僕がメインでやっている活動は、子育てや、教育です。
特に、「子どもに対する親のコミュニケーションの取り方」を専門にやっています。

親が子どもへのコミュニケーションの取り方を変えることで、
今までは「勉強しなさい！」と言われて勉強嫌いになっていた子どもを減らせる。

そのためには、親自身が勉強の楽しさを知る必要があるし、
親自身が自分の学びたいことを熱心に学んでいる必要があります。

それで、多くの人が苦手意識を持っているのが、数学や、物理学など
数理科学系の分野です。

今の親世代もまた、学校や、家庭で、「勉強しなさい！」
って言われて、「自分がやりたいかどうか」ではなく、
義務的に勉強をさせられてきました。

そしたら、ご存知の通り、「勉強嫌い」か、「勉強は嫌だけどやるもの」
っていう意識を持った人が大勢誕生しました。

勉強嫌いな人が親であれば、子どもに「勉強してほしい」って思うならば、
自分がされたのと同じように「勉強しなさい！」ってやります。

そして、その子どももめでたく(?)「勉強嫌い」になります。

こうして、勉強嫌いが世代を超えて受け継がれていきます。

もちろん、勉強好きよりも、勉強嫌いの方が知的レベルは平均するとグッと低くなるのは想像に難くないと思います。

勉強嫌いな親



勉強嫌いな子ども

って連鎖が起こっているから、子どもを勉強好きにするためには、親が勉強の楽しさを知る必要があります。

そうすると、

勉強を楽しむ親



勉強を楽しむ子ども

って図式が出来上がるはずです。

同じ理屈でね。

1000人を超える親に関わってきて、子どもの知的レベルを上げるためには、子どもだけが勉強を楽しむよりも、親子で一緒に楽しむことが大事なんだと分かってきました。

だから、親にも勉強をする楽しみをぜひ知ってもらいたい。

そして、親子の対話を知的なものにしてもらいたい。

家庭内で子どもが知的な情報に触れることができ、親もまた当たり前のように何かを学んでいるならば、子どもは何の疑いもなく、自分も何かを学ぶでしょう。

家庭の文化、親子の雰囲気を作るのは、最初は親です。
それで、勉強することをどれだけ当たり前で、自然なことにできるのか。

子どもが当たり前のように勉強をするようになって、
日本の知的レベルを上げるためには、そのことが非常に大切なんだというのが、
僕が今、至っている結論です。

子どもに学ぶ楽しさを実感してもらうには、
親自身もまた学ぶ楽しさを実感していることが大切です。

子どもが家庭でも学ぶ楽しさを実感しているなら、
学校に通っている間も、学ぶことを苦痛には感じたりしないはずです。

従来の「学ぶ義務」から、「学ぶ楽しみ」へとシフトしていく必要がある。
僕が親に伝えられるものの中で、「楽しい」と思ってもらえることの1つが
「量子力学」であり、「引き寄せの法則」です。

今回は、このレポートの中で、「量子力学」と、「引き寄せの法則」について
書いていきます。

冒頭にも書きましたが、巷にある「引き寄せの法則」を
僕が独自の観点で簡潔にまとめあげたので、
ぜひ何度も読み返してもらえればと思います。

引き寄せの法則は、これだけ！

先に、引き寄せは、何をすれば起こるのか？っていうことを書いておきます。

今から書くことを実行し続けるだけで、「引き寄せ体質」が身に付いて、
自分に引き寄せが起こるようになります。

引き寄せ 3 原則

1. 引き寄せたい状態を、
あたかもそれがすでに実現したかのように、
ありありとイメージする
2. 自分の感情、感覚に素直になり、
自然とステイト（心の状態）が高まる環境を作る
3. 1 で描いたイメージを手放し、
今この瞬間の気持ちに従って生きる

「引き寄せの法則」は、色んな理論が並べられますが、
実際、やっているのはこれだけです。

もっと簡単に言うなら、

「未来にワクワクしながら、やりたいことやって、やりたくないことはやらない」
ってことです。

「これだけで、どうして引き寄せが起こるのか？」
っていうことに、書籍などで多くの紙面が割かれているんです。

「結局、何をやればいいのか？」
っていうのは、引き寄せの法則3原則を実行するだけです。

でも、これだけだと、
「本当にこれだけで引き寄せが起こるの？」
って思うかと思うので、もう少し詳しく書いていきます。

最終ゴールは、感情

僕らは、やりたいことを実現する時に、夢や目標を持つことがあります。
年収はいくらがいいとか、
南国リゾートでバカンスしたいとか、
こんな仕事がしたいとか、
こんな人と結婚したいとか。

仮に、年収300万円の人が「年収が1000万円になったらいい」という
目標を立てるとします。

そして、なんか上手く行って、年収が1000万円になったとします。
それでめでたしめでたし・・・

とはならないんです。
なぜなら、年収が300万円から、1000万円になると、

- ・生活水準
- ・交友関係
- ・家族関係
- ・ライフスタイル
- ・仕事
- ・趣味や遊び
- ・学ぶこと

など、生き方がガラッと変わるから、です。

「年収300万円の人」が、年収1000万円になって同じ生活ができるのか、
っていうとそれはできません。

なぜなら、年収300万円と同じことをやっていたら、年収1000万円にはならないので、
自分の考え方や、行動パターンを変えていかなければならないから、です。

「年収300万円の人」は、「年収300万円の生き方」をしているから、
年収300万円なんです。

「年収1000万円の人」は、「年収1000万円の生き方」をしているから、

年収1000万円なんです。

ということは、年収1000万円になるためには、「年収300万円の生き方」をやめないとけない、ってということになります。

「年収300万円の人」が年収1000万円になれないのは、「年収300万円の生き方」をやめられないから、ってということなんです。

例えば、

- ・物を買う時に、高いか安いかで判断する
- ・自分がやりたいことより、やるべきことを優先する
- ・そもそも、働いている時間が少ない
- ・やっていることの価値が低い
- ・自己肯定感が低い
- ・そんなに欲しくないものにお金を使っている

などなど・・・。

「年収300万円の人」にとっては、「年収300万円の生き方」がとても心地良いわけです。
すなわち、「年収300万円の生き方」からは、『心地よさ』っていう感情を受け取っているんです。

「年収300万円の人」は、「年収300万円の生き方」から得られる感情を求めて、「年収300万円の生き方」をしているんです。

「年収300万円の生き方」をしたいわけじゃなくて、
「年収300万円の生き方」から得られる感情を得たいんです。

ここが非常に重要なポイントです。

どれだけ「年収1000万円になりたい！」って強く願っても、
「年収300万円の生き方」から得られる感情を手放さない限り、
年収1000万円にはならないんです。

「夢を叶えられる」は遺伝する

家庭や、学校では、基本的には、やりたいことよりも、やるべきことを強制されると思います。

「思い付きで行動するな」

とか、

「やりたいことやる前に、やることやりなさい」

とか、夢を描いても、

「そんなことより、勉強しなさい」

「それを叶えるためには、勉強でしょ」

って言われる光景は、特に珍しくありません。

そうやって、感情を基準で行動するのではなく、
思考を基準にして行動をするようになります。

心がどう動くのか、ではなく、どういうルールなのか、
合理的に考えて、今は何をすべきなのか。

そういう判断基準で行動をするようになります。

思考基準で行動をするようになると、その思考が自分を縛るようになります。
思考が自分を縛るようになれば、感情のアンテナが錆び付きます。

感情が鈍化すれば、さっき書いた
「理想的な自分の生き方」
ができなくなります。

なんでかっていうと、「理想的な自分の生き方」は、その時の感情が大事なのに、
感情のアンテナが錆びちゃう。

感情のアンテナが錆び付けば、

「どうせ、無理なんじゃあ・・・」

「そうはいつでも、現実には年収300万円だしなあ・・・」

「人からなんて言われるか・・・」

「こんなの常識から考えておかしいし・・・」

って思考でごちゃごちゃとお喋りが始まります。

感情で動くよりも、思考で動く方がエネルギーが低いから、
思考でごちゃごちゃ考え始めると、自分のエネルギーが下がっていきます。

エネルギーが下がれば、行動量も減るから、
「理想的な自分の生き方」っていうのはできなくなっていくます。

そして、結局、

「今まで通りな自分の生き方」

を選択するようになります。

言い方を変えれば、「思考も、感情も使わない、慣れ親しんだ生き方」を
選択しちゃうんです。

理想的な自分から離れて、結局、今まで通りの自分になります。
これを何度も何度も繰り返していると、

「夢って叶わないんだなあ」

って思うようになります。

夢が叶わないのは当たり前。
やりたいことができない方が普通。

そんな親が子どもに何て言うかと言えば、
「やりたいことは、やることやってからでしょ！」
ってなるわけです。

夢を叶えてきていない親からしたら、
やりたいことよりも、やるべきことの方が重要で、
理想的な自分であるよりも、いつも通りの自分の方が重要です。

その信念が親だけで完結していればいいんですけど、
ほぼ間違いなく、子どもにも伝染します。

やりたいことやっていない親からは、やりたいことができない子どもが育ちます。
夢を叶える親からは、夢を叶えられる子どもが育ちます。

だから、僕は、親がやりたいことができるようになって、それが子どもにも伝染して、
子どもも当たり前のように夢を叶えられるようになってほしい、って願っています。

そして、それはそんなに難しいことを理解しなくても、
簡単にできてしまう。

何をすればいいのか？っていうと、「引き寄せの法則3原則」をやるだけ。
それを何度も何度も繰り返して、意味を理解して、
身体に覚え込ませる。

「夢は叶う方が当たり前なんだなあ」ってね。
そしたら、本当に次から次へと引き寄せが起こるようになります。

親の呪いを解き、子どもに呪いをかけない

「やりたいことより、やるべきことをやらなければならない」
っていうのは、言わば、

『夢が叶わない呪い』

みたいなもんです。

自分がそう信じていると、自分の夢が叶わないし、

子どもにそう信じ込ませると、子どもの夢が叶わなくなります。

自分のやりたいことができない人生なんて、
どうして生きているの？なんて僕は思っちゃいます。

何のために生きているんだろう。

「やりたいことより、やるべきことを優先する」

っていう生き方は、言い換えれば、

「自分のためではなく、他人のために生きている」

「自分の声を無視して、他人の声に従って生きている」

っていうことです。

他人も自分の人生を生きているんだから、
あなたまで他人の人生を生きてしまうと、誰もあなたの人生を生きなくなります。

そこで上手く使えるのが、『子ども』なのね。
あなたがどれだけ他人の人生を生きていようと、
子どもには、親であるあなたの人生を生きさせることができます。

そう、『親の呪い』をかけることによってね。

「やりたいことは、やるべきことをやってからでしょ！」

って言い続けることで、思春期を超える頃には、
他人の人生を生きる子どもが完成します。

それを言うのは親だから、子どもは『親の呪い』を受けて、
親の人生を生きるようになります。

知らず知らずのうちにね。

親ですら、子どもに親の人生を歩ませようとしていることに気付かない人も多い。

だから、もし、あなたが、
「子どもには、自分の人生を生きてほしい」
とか、
「子どもには、夢を叶えてほしい」
とか、
「子どもには、やりたいことをやって幸せに生きてほしい」
って願う場合、

『親の呪いをかけない』

ってというのが非常に重要になってきます。
親の呪いは、親元を離れてからでも効力を発揮します。

だから、子どもが親と一緒に過ごしている今、
あなたが子どもに呪いをかけることをやめないといけない。

つまり、
まずは、親であるあなたが幸せになること、
まずは、親であるあなたがやりたいことを優先すること、
まずは、親であるあなたが夢を叶えること、
をしなければならぬんです。

そのために、僕は、親にも『引き寄せの法則』を学ぶだけでなく、
ぜひ身に付けてほしい、って思います。

「夢は、ちゃんと叶うんだ」
っていうことを体感で知ってほしい、って思います。

理論だけじゃなく、実践もする

去年、一昨年と、全国各地で引き寄せの講座をさせてもらいましたが、
1回の講座では、ポイントしか伝えられなかったことと、

そして、実践するところまで持っていけなかったことが気になっていました。

それでも、

「分かりやすかった」

「心が軽くなりました」

「さっそく引き寄せが起きました！」

みたいなことを実感してくれた人は何人もいました。

講座のアンケートを取ったら、90%以上の人が楽しんでくれていました。

この講座には、兵庫・岐阜・東京・仙台・帯広で、
中には「実行委員会」まで組んでくれたり、多くの人が協力をしてくれました。

その想いを持って開催してくれたもの、
僕が趣味レベルで楽しんでいたものに価値や楽しみを見出して、
実践までしてくれた人がいました。

まだまだ伝えきれていない部分があって、
自分でも伝えたい気持ちが大きくなり、この企画を作りました。

理論を学ぶだけでなく、何を具体的に、どう実践したらいいのか、
っていうところまで踏み込んで解説していく講座です。

怪しさを排除して、論理的に理解できる

今回、僕が伝えたいのは、「量子論を使った引き寄せの法則」の骨格です。

先述した「引き寄せの法則3原則」は、言わば心臓部です。
ここが一番大事なところ。

でも、心臓だけでは生きることにはできませんよね。

盲目的に、特に何の理論的な裏付けがなくても

信じて実践できる人は、3原則だけで十分だと思います。

そのまま信じてやってくれたらいい。

でも、「引き寄せの法則」を実践する時に壁となるのが、

- ・怪しい、信じられない
- ・心理的な抵抗感がある

の2つです。

「引き寄せの法則」は、どちらかと言えば、スピリチュアルの分野に入ります。スピリチュアルは、そのまま理解するだけだと、どうにも怪しさを感じてしまいます。

だから、何となくそうなのかもな？って思っても、何となく怪しいな、って思っちゃう。

怪しいと思ったものは、自分の中で重要度が下がり、実践されなくなり、引き寄せも起こりません。

だから、今、世界中で盛んに研究されていて、今までの物理学の常識をひっくり返しまくっている『量子力学』の考え方をベースに「引き寄せの法則」を解説していきます。

僕は、量子力学は、引き寄せの法則の文脈で学んだのではなく、大学院時代に、専門的に研究していました。

なので、引き寄せの法則の話の中に出てくる怪しさは、量子力学の観点から論理的な裏付けを行って伝えます。

心理的な抵抗感は、自分を今まで縛ってきた思い込みです。

「やりたいことを優先しましょう」

なんて言われても、

「やりたいことないし・・・」

「いや、やること残っているし・・・」

って抵抗して、結局、やるべきこと(=他人軸)で生きることを選択しちゃう。

だから、「引き寄せの法則」を学んでもらう時には、
心理学的な詳細な洞察が必要になります。

理論を、日常生活で起こっているレベルまで具体化して行って、
「そうそう！それぞれ！」
って納得できる必要があります。

心理的な抵抗感は、
「自分の内面で起こっていることと、異なることに出くわした時」
に起こります。

引き寄せの法則や、量子力学の理論的な正しさだけでは、
心理的に抵抗を起こしてしまうことがあります。

だから、心理学的な観点から、心理的な抵抗感についても、
詳しく解説していきます。

量子力学で、怪しさをできる限り排除して、
心理学で、今まで自分を縛ってきた心理的な抵抗感を解除できるようにする。

そして、親が量子力学的な考え方や、心理学のコアな部分を理解することで、
子育てや、教育にも活かして、自分のことをコントロールできるようになったり、
子どもとちょうどいい距離感で関われるようになってほしい。

それが今回やりたい企画です。

量子論引き寄せ講座 -OPEN- 詳細

今回の企画は、『量子論引き寄せ講座 -OPEN-』と題して、講座として開きます。

「今まで自分にかかってきた呪いを解き、解放する」
「子どもに呪いをかけるのをやめて、解放する」
「量子力学と、心理学を学び、新しい世界への扉を開く」

っていう意味で、このタイトルをつけましたが、この講座で「量子力学的引き寄せの法則」の全容を学んでもらいます。

僕のところには、子育てに悩んでいた親から、

「佐伯さんに出会ってから、子育てがすごく楽になりました！」

っていうメールや、

「子どものことを久しぶりに可愛いと思えるようになりました！」

っていうメールをありがたいことにいただきます。

とはいえ、僕自身は、独身だし、子育て未経験です。

だから、僕よりもっと子育てや、教育的なことに詳しい人は山ほどいます。

しかし、量子力学と心理学について専門的に研究していて、引き寄せの法則を実生活に落とし込んで、それを子育てや親子関係に応用していて、かつ、それを体系化することができている、という人は、少なくとも僕は見たことはありません。

だから、これは僕自身がやらなければならないことなんだな、って思っています。

僕は、子どももそうですが、親も、やりたいことを当たり前のようにやって、夢を叶えるのが当たり前な親子がもっと増えたらいいなあ、と思っていました。

その時に必要なのが、連綿と続く親子の負の連鎖からの解放だし、理論的な裏付けのある夢を叶える技術としての「引き寄せの法則」でした。

「引き寄せの法則」を学ぶと、「がんばったら結果が出る」みたいなことは全然、自然の摂理に反している、ってということが分かります。

だから、子どもに「もっとがんばりなさい」なんて言っても、子どもは苦しみ、幸せと引き換えに結果を出すようになるだけ。

子どもに幸せで、自分がやりたいことを実現する人間に育てもらうために、まずは、親自身が「やりたいことを当たり前を実現している」という生き方にシフトしていく必要がある。

幸せに生きる親を見て、子どもが「自分も幸せに生きるぞ」と思える親子を増やすこと。

それが、僕が子育て業界においてしなければならない、最大のミッションだと思っています。

そこで今回は、「量子力学に基づいた引き寄せの法則」をマスターしてもらうために、3ヶ月間かけて、「量子力学」と、「心理学」定期的にメール講座と、動画を配信します。

まず、参加後に、本文中にも登場した、
「すぐに実践できる引き寄せの法則3原則の詳細」
を解説した動画をお送りします。

人によってこの動画だけで話していることを実践するだけで、すぐに引き寄せが実感できる人もいます。

しかも、引き寄せが起こるだけでなく、
僕が「引き寄せ体質」と呼んでいる、

- ・オーラがある
- ・幸福感が出てる
- ・明るく楽しそう

っていう雰囲気身をまとうことで、
周囲の人まで明るく元気にしちゃうようになります。

なので、まずは、この動画を見てもらってから、
「引き寄せの法則」の基礎を学んでもらいます。

その後は定期的に、動画や、メール講座を配信していきます。

具体的には、どんな感じの話をするのかと言えば・・・

●引き寄せと”逆”引き寄せを分ける「人間の2つの行動原理」

(行動原理とは、「何を基準に行動しているか」です。逆引き寄せが起こる行動をやめて、
引き寄せが起こる行動にシフトしていけば、引き寄せは簡単に起こるようになります)

●量子力学×心理学の2つの観点から理解する2つの波動論

(引き寄せの法則では、『波動』を理解することが大事です。波動には、僕らの内面にある波動(心理学的な波動)と、僕らの外側にある波動(量子力学的な波動)があり、その両方を使いこなせるようになると、執着も手放せて、穏やかな自分でいられるようになります。)

●偶然と引き寄せは違う。より正確に日常で起こることを理解するための確率論

(引き寄せを学んだ人の多くが、偶然と、引き寄せの区別がついていません。偶然を引き寄せだと思ってしまうと、最初はよくても次第に「引き寄せが起こらない」という状態に陥ります。なぜなら、それは偶然だったから。偶然と、引き寄せの差を埋める量子力学的な確率論について解説します。)

●やることやったら、あとは天に委ねるしかない。「果報は寝て待て」理論

(引き寄せは 100%起こせます。でも、それは出来事を起こすわけじゃない。出来事が起こるかどうかは、もはや神のみぞ知る世界です。僕ら人間には分かりません。だから、やることやったら、あとは天に委ねて、果報は寝て待ちます。その寝て待っている間に何をするといいのか？っていうことを解説します。)

●コペンハーゲン解釈の「波束が収縮する」の心理学的な意味

(量子力学では、「実現する前には、2つの状態が混在していて、実現するとどちらかの状態に波束が収縮するのだ」っていう考え方をして、この考え方を『コペンハーゲン解釈』って言います。この考え方を学ぶと、出来事に対する態度が変わります)

●物理学の「光の二重性」を心理学に置き換える

(光の二重性とは、「光は、波の性質と、粒子の性質を同時に併せ持っている」っていう話です。波とは、確率の状態。粒子とは実現した状態。どういう時に、波動性と、粒子性が入れ替わるのか、っていうのを心理学的に解説します)

●「思考は現実化する」って言うけど、現実化しているのは思考ではない

(有名な成功哲学書「思考は現実化する」を読むと、あたかも「考えたことが現実化する」って思いがちだけれど、もし本当にそうなら、もっと幸せな人が多くてもいいはずですが、そうじゃないのは、思考が現実化しているのではなくて、別のものが現実化しているから。『現実化』がどういうメカニズムで起こっているのかを解説します。)

●引き寄せの最終ゴールである『感情』をより強める5つのステップ

(結局、僕らが求めているのは、出来事や物質ではなく、その出来事や物質から得られる『感情』です。ということは、その感情をより明確にする必要があるし、強める必要が出てきます。求めている感情を明確にし、強めるための5つのステップを解説します。)

●自分の感情に支配されず、コントロールするためのトレーニング

(感情に振り回されていると、引き寄せは起こりにくくなります。だから、感情に支配されず、上手くコントロールするためには、感情について理解を深め、練習をする必要があります。では、具体的にどういう練習をしたらいいのか？っていうことを解説します。)

●「宗教」の構造から学ぶエネルギーの流れ

(キリスト教、イスラム教、ユダヤ教、神道など、世の中にある様々な宗教は、自分の関わり方によって、自分のエネルギーを減らすこともあれば、高めることもできます。自分の

エネルギーを減らす付き合い方と、自分のエネルギーを高める付き合い方を紹介します。)

●物理学におけるエネルギーと、心理学におけるエネルギーの違いと共通点

(引き寄せの文脈で「エネルギー」という言葉が使われます。このエネルギーを具体的に理解するために、物理学と、心理学それぞれにおけるエネルギーの考え方の違いと、共通点を話します。)

●古典的確率論と、量子的確率論の違いを知り、未来への絶望をゼロにする

(僕らは未来に色々な期待をしては、叶えばハッピー、叶わなければアンハッピーになりやすい。これって人生をギャンブルで考えていることであり、古典的確率論の考え方です。人生をギャンブルにすることをやめて、量子的確率論を学ぶと未来への絶望感をゼロにできます)

●最終ゴールである『得たい感情』をありありと描く技術

(僕らは具体的かつ数値的に実現できる目標を目指すのではなく、最終的にどういう感情でいたいのか、どういう在り方でいたいのかを目指して生きています。『得たい感情』をありありと描けるようになることで、より最終ゴールを実現しやすくします)

●僕が 2013 年 2 月 2 日にお金がゼロになった話

(僕が実際に体験したお金がゼロになった話から「どうやったら、お金がゼロになるのか」を知ることができます。ということは、その逆を考えれば、「**どうやったら、お金が残るのか**」「**どうやったら、お金が増えていくのか**」ということを学ぶことができます)

●2014 年 8 月に決心したことから、引き寄せが起こり始めた

(僕は、2014 年の 8 月某日にある決心をします。この決心をしたことで、非常識な決心ではありましたが、そこから常識では考えられないルートから引き寄せが起こり始めました。これは僕の引き寄せストーリーの始まりです。その時に、何が起こったのか、そして、何が起こったのかを明らかにすることで、引き寄せの法則の本質を解説します)

●「やりたいことだけやったらいい」の誤解と真実

(引き寄せの法則の文脈で言われる「やりたいことだけやったらいい」は、実はよく考えてみないと誤解したまま、お金が無くなったり、人が離れていったり、より自分の首を絞めてしまうことがあります。「やりたいことだけやったらいい」の真実を知ること、やりたいことをやるのが引き寄せに繋がるように変えていきます)

●夢の実現率を上げたミルトン・エリクソンの言葉

(心理療法家ミルトン・エリクソンの残した言葉が印象的で、僕もこの言葉に忠実になることで、夢の実現率は飛躍的に上昇しました。夢は持つだけではダメなんだ、ということを知りました)

●「～がやりたい」みたいな Want での未来の描き方ではなく、確定した未来を描くことで実現する確率が高まる

(「～がやりたい」という望み方をすると引き寄せが起こりにくくなります。より引き寄せが起こりやすい「確定した未来」の描き方を教えます)

●師匠に教えてもらった「世界一を目指している人は、世界一になれない」の意味

(この言葉を最初に聞いた時、脳天に衝撃が走りました。なぜなら、世界一になるような人は、世界一を目指していると思っていたからです。僕はこの話を聴いて、一気に肩の荷が下りたような感覚になりました。)

●なかなか決断できない人のための「ベイベーステップ」のススメ

(引き寄せの考え方の1つに「決めれば動き出す」というものがあります。決めれば物事は変化し、決めなければずっと堂々巡りです。かと言って、色んなことを考えてしまって、葛藤もあって、なかなか決められない人もいます。そんな人のために、「ベイベーステップ」を作るコツを教えます)

●自分がうんちならハエが集まるし、自分が花ならチョウが集まる

(なんとなく、自分は人に恵まれているなあ、と思う人もいれば、自分は人に恵まれないなあ、っていう人がいます。人に恵まれるための自分がどういう在り方をしていけばいいのか、解説します)

●好きなものにお金を使ってもまた入ってくる人と、そうでない人の違い

(引き寄せている人は、好きなものにお金を使っても、また入ってきますが、そうでない人は、使えば使うほどお金は無くなります。この2人の違いを知れば、お金と心がどう関係しているかが見えてきます)

●二重スリット実験から学ぶ物理現象と意識の不思議な関係

(量子力学の不思議な現象を表した「二重スリット実験」というのがあります。高校や大学で物理を学んでも、すぐには理解できない難解な実験ですが、ここには「意識」と「物理世界」の重要な示唆があります)

●物理学的なエネルギーの意味を知ること、心やお金などの精神的なエネルギーについて理解する(引き寄せの文脈でよく「エネルギー」という言葉が使われますが、これを物理的な意味で再定義することで、「エネルギー」という言葉が持つ本来の意味が見えてきます)

●「やる気が出ない」という人のためのエネルギーの源泉の見つけ方
(やる気が出なくて行動量が少ない人は、引き寄せが起こりにくい。やる気を出すための「エネルギーの源泉」の見つけ方があります)

●「振り子理論」を使って、潜在意識と仲良くする
(潜在意識は、文字通り『潜在』しているので、僕らが見たり聞いたり、気付いたりすることはできません。それでも、潜在意識は僕らの意識全体の97%を占めていると言われていて、とても強大な力を持っています。その潜在意識と仲良くするための「振り子理論」を紹介します)

●「引き寄せの法則」はスピリチュアルではなく、論理的かつ現実的な考え方
(引き寄せの法則は、スピリチュアルの文脈で語られることが多いけれど、量子力学の考え方を持ってくことで、実は論理的かつ現実な考え方であることが分かります)

●潜在意識とは『前提』である
(フロイト、ユングの時代から『潜在意識』という言葉が使われ始めましたが、この言葉は「見えないから使えない、気付けない」というニュアンスも感じられて、とても難しいものに感じられると思います。でも、その正体は実は『前提』なんだよ、っていう話です)

●「今、この瞬間」を大切にしたい方がいいのに、未来や、過去を考える理由
(引き寄せでは、「今、この瞬間を大切にしよう」と言いますが、本当は未来も、過去も考えた方がいいです。なぜなら、っていう話をします)

●自分の思考を宇宙レベルまで広げていくためにやるといったたった1つのこと
(「宇宙と自分が繋がっている」ということを数学的に考えると、自分の思考を宇宙レベルまで広げていくためには、何をすればいいのか、ということが見えてきます)

●アドラー心理学における『共同体感覚』の本当の意味
(「共同体」という言葉を使っているけれど、それは単なる「集団」という意味に留まりません。「共同体感覚」の本当の意味を知ることでもまた「宇宙と自分が繋がっている」ということの理解を深めてくれます)

● マズローの5段階欲求説から読み解く人類の進化

(マズローの5段階欲求説は、僕ら人間のことを知るために良い示唆を与えてくれています。そして、人間のことに対する理解が深まれば、人間がこれからどういう進化をしていったらいいのか、ということが見えてきます。)

● 進化史から紐解く、現代が生きやすい人と、生きにくい人の違い

(進化の歴史を紐解いていくと、現在まで生き残った種と、そうでない種の違いが分かります。それは現代をどう生きればいいのか、ということも教えてくれます)

● 量子力学的な確率論と、不確定性原理から言える「だいたい」のススメ

(ニュートンに代表される古典力学とは決定的な違いを見せた量子力学。その代表的な話の一つが「不確定性原理」です。これと確率論を合わせていくと、日常生活でどう生きれば生きやすいのかが見えてきます)

● 継続の重要性を教えてくれる「1%の法則」と「1.5倍の法則」

(継続は、非常に大きな変化を生み出してくれます。どうして継続が大きな変化を生み出せるのか。それは「1%の法則」が働いているからです。また似たような話に「1.5倍の法則」もあります)

● 空(くう)の考え方を学び、執着を手放す

(結果への執着は、“逆”引き寄せを起こすから、執着を手放したい。そのために、『空(くう)』の考え方が役に立ちます)

● 男女が本質的に求めていることを知り、家庭内平和を実現する

(男性と女性が本質的に求めていることは全然違います。その違いを知らずにいけば、男性が高圧的になったり、女性が我慢したり、その逆だったりして、男女の良好な関係は築けません。それが結局、子どもの教育にも多大なる影響を及ぼします)

● 自分の闇の部分は、克服するのではなく、光と統合する

(自分の闇の部分は、抑え付けたり、克服したとしても、ほぼ確実にまた戻ります。だから、克服するのではなく、光の部分と統合するんです。そうすると、闇の中に光が見えるようになります。どうやって統合するのか、も解説します)

などなど・・・

以上を3ヶ月の間に発信しようと考えています。
あくまで予定なので、変更があったり、もっと増えたりするかもしれません。

とりあえず、こんな感じのを予定している、ということで、
なんとなくのイメージを掴んでもらえればな、と思います。

要するに、

「3ヶ月間で、自分にかかった呪いを解き、子どもにも呪いをかけるのをやめて、
自分ファーストな生き方をして、まずは自分を幸せにできるようになりましょう」

ってことを目指していきます。

「引き寄せの法則」の目指すところは、
「自分が幸せになり、それで周りも幸せにしちゃう」なので、
OPENは、そこを目指していきます。

3ヶ月かけて、量子力学、心理学、引き寄せの法則を解説していきます。

価格について

今回のオンラインコースの参加費は、3万円(3ヶ月)となります。
(配信状況によっては、期間が延びることもありますが、それに対して追加料金はあり
ません)

「思っていた以上に安くないですか？」
って思ったのなら、あなたは鋭いです。

最初は、キリのいいところで、10万円にしようと思っていました。

これは、
「10万円だけど3分の1の3万円です！ほら安いでしょ？」
って思わせるために言っているのではなく、本当にそう思っていました。

だってね、量子力学を本気で学ぼうと思ったら、
大学4年間×1年間の学費=200万円くらい
必要だし、

心理学を本気で学ぼうと思ったら、数十万円は普通にかかります。

しかも、それらを統合して、体系的に使える形にまで落とし込むとなれば、
もはやお金をかけたからできる、っていうものでもない。

ただ、今回の目的は、
「大人に学ぶことの意識を高めてもらう」
ということで、より多くの人に手に取ってもらい、
大人が学んで実践する楽しさを実感してもらいたいな、って思っています。

それが子どもにも伝わるとさらにいい。

ただし、実際の価格は3万円ですが、
「10万円を払う」くらいの気持ちで参加してもらえたら、と思います。

逆に言えば、今回のレターを読んで、
10万円の価値を感じない(10万円を払う価値が無いと感じる)ならば、
申し込まない方がいいかもしれません。

10万円という金額は、出そうと思うと少し勇気のいる金額かもしれません。

そして、量子力学を学び、引き寄せを使いこなせるようになる時、
自分にかかっていた呪縛は解けているし、子どもに呪いをかけていることも
無くなっています。

自分も、子どもも、その周りの人たちの人生の質すら上がります。
自分だけが幸せになるのではなく、自分と、自分の周りの人たちも

幸せになっていきます。

そう考えると、10万円というのは、非常に良い投資なんじゃないかな、
と思いますし、自分で決心して10万円で参加した講座は、
今でも自分の血肉となって血肉となって、人生を変えてくれたな、って思います。

なので、そのくらいの金額を払った、っていう気持ちで
申し込んでもらった方がその分、より吸収できるはずですよ。

もちろん、最初に払うのは3万円です。

残りの7万円分は、引き寄せが身に付いてからで構わないので、
子どもに投資するなり、誰かを助けるためや、
世の中を良くするために使ってもらえたらな、って思います。

「引き寄せが身に付いたら」っていうのは自分基準で構いません。
「子どもとの関係が良くなった」とか、「ある目標が達成できた」とか
何でも構いません。

申し込む際に

「さっさと自分は幸せになって、残りの7万円を子どもに投資して、
さらに成長してもらおう！」

と思いながら申し込むだけで、意識が高まります。

(何故なのか？はまた講座の中で解説します)

講座自体は3万円なので、僕にはそれ以上払う必要はありませんが、
気持ち的には10万円を払っているつもりでいてもらえたらなと思います。

今回は、僕に残りの分は払わなくてもいいんですが、

「ちゃんと自分が幸せになって、子どものために使っています！」

「ちゃんと自分が幸せになって、世の中を良くするために使っています！」

とメールいただけるだけでも、すごく喜ぶます。

まとめると、

- ・3ヶ月間、動画が毎週、配信される
- ・それに合わせてメルマガも配信
- ・価格:3万円

となります。

学び合いの2018年

僕は、もうかれこれ3年半、メルマガを配信し続けてきました。
タイトルは「子どもが自分から勉強を始める親のコミュニケーション」です。

このメルマガは、特に何も制約を設けずに参加できるから、
学ぶ気持ちや、自分を成長させる気持ちが人によって様々です。

だから、どうしても内容は平易な当たり障りの無いものになります。
学校の授業と同じですね。

ただ、今年は、「学び合える仲間を集める」つもりでいます。

受け身で情報を受け取るだけではなく、
受け取った情報を自分で深めたり、高めたりできる人を増やしたい。

親がもし、そうなれば、それは確実に子どもにも影響が出て、
子ども自身も情報に対して受け身ではなくなります。

それが結局、子ども自身の学ぶ力に繋がるし、
親が「勉強しなさい！」なんて言わなくても良くなります。

今は、メルマガは誰でも受け取れる状態ですが、

今年中には、僕と一緒に学ぶ意欲のある人向けへと転換していこうと思っています。

受け身で学ぶのではなく、積極的に学んで、
自分を変えたり、高めたりしたい方に向けて、ですね。

かねてから、
「このメルマガは、誰かを助けるために書いているのではない」
と僕は言い続けてきました。

だから、メルマガは読みたい人だけに読んでほしいし、
学びたい人だけに読んでほしい。

そして、読みたい人、学びたい人に、僕の時間とエネルギーを使いたい、
って思っています。

なので、この企画では、メルマガを一方向的に配信するだけではなく、
参加者の方とコミュニケーションを取れる仕組みを作って、
日々、色んなやり取りをしながら、学びを深めていきます。

学びを深め続けていけるような仲間を集めるために、
今回は、この企画を立てました。

この企画を通して、

「生きるって何なのか？」

「幸せとは何なのか？」

という大きな命題にも挑んでいけたらな、と思います。

結局、子どもを育てることは、子どもが自分の力で
幸せに生きられるようにしてやることだと思うから。

とても情報量が多かったと思いますが、
ここまで読んでくれてありがとうございます。

それでは、参加される場合は、以下よりお申込みください。
楽しい3ヶ月間にしていきます。

[量子論引き寄せ講座 -OPEN- 参加はこちら\(銀行振込 or クレジット\)](#)

申込をするとメールが届くようになるので、
[【quantum.attraction.open@gmail.com】](mailto:quantum.attraction.open@gmail.com)
からのメールが受信できるようにしてください。

特に、メールアドレスが、

@ezweb.ne.jp

@i.softbank.jp

の方は迷惑メールフィルタで弾かれる可能性があるので、
あらかじめ受信許可設定をしておいてください。

また、

@icloud.com

PHS

での受信はできないようです(PCメールが受け取れない)。

Gmailであれば、確実に受け取れるのでオススメです。

ではでは、ありがとうございました！

佐伯和也